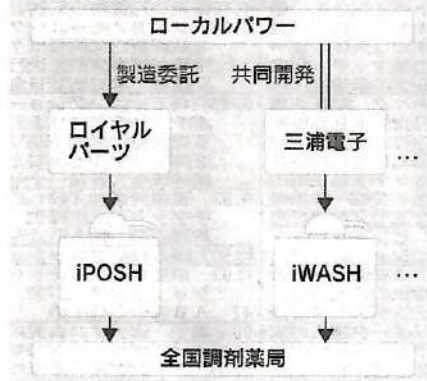


ローカルパワーは秋田県内企業と共同商品開発を進める



調剤薬局向け商品を多様化

秋田のローカルパワー、洗浄水など

化学製品製造のローカルパワー(秋田市)は秋田県内に拠点のある製造業と連携し、調剤薬局向けの商品開発を多様化する。第1弾の除菌消臭剤が好調だったのを受け、第2弾として安全性の高い洗浄水の製造を電解水製造の三浦電子(秋田県にかほ市)に委託。7月から売り出した。全国の調剤薬局に販路を持つ強みを生かし、独自技術を持つ県内製造業の販路開拓を支援する。

県内製造業と連携加速

新製品の洗浄水「iWASH」(アイウォッシュ)は凹凸加工のプラスチック製専用ワイプ(ふきん)とセットで販売し、洗浄力をさらに高める。主力の次亜塩素酸水の除菌消臭剤「iPOSH(アイポッシュ)」で、全国に5千万円の売り上げを約5千店舗の調剤薬局に

見込む。ローカルパワーは2014年6月に売り出した。研究費だった寺田耕也社長の父親が特許を持つ、薄い食塩水を特殊フィルターで弱酸性にする製法を採用。希塩酸を混



ローカルパワーの新商品「アイウォッシュ」(左)と主力商品「アイポッシュ」

せて作る他社商品に比べて品質が安定するため、長期間保管でき飲めるほど安全性が高い。今期(17年10月期)の売り上げは1億5000千万円の見通しで、来期(18年10月期)は3億円に伸ばす計画。アイポッシュは航空機部品などを手掛けるロイヤルパーツ(秋田県湯沢市)に製造を委託している。寺田社長は「秋田には目立たないが高い技術を持つ企業が多く、売ることが得意な我々と組み合わせることでお互いの強みを生かせる」と話す。三浦電子の三浦博常務も「相乗効果が期待できる」と話す。

ローカルパワーは、アイポッシュ、アイウォッシュに続く第3弾として、一般家庭で使うより強力な洗浄液の開発も計画している。販路をドラッグストアや量販店に広げず、調剤薬局に限定することで、値崩れを防ぎ、競合他社の商品と違いを出す狙いもある。

日本経済新聞 東北版
2017年8月22日(火)掲載